

各位

会社名 株式会社サトウ産業
 (コード番号 3450 TOKYO PRO Market)
 代表者名 代表取締役 佐藤 明郎
 問合せ先 取締役総務部長 大野 智美
 T E L 025-520-2288
 U R L <https://www.sato-san.jp/>

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2026年3月17日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年4月4日に開示した2026年2月期(2025年2月21日~2026年2月20日)の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年2月期通期業績予想数値の修正(2025年2月21日~2026年2月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,225	16	26	26	69.30
今回修正予想(B)	3,456	1	14	8	22.27
増減額(B-A)	231	△15	△11	△17	
増減率(%)	7.2	△90.8	△45.6	△67.9	
(参考)前期実績 (2025年2月期)	百万円 2,384	百万円 1	百万円 17	百万円 86	円 銭 231.09

2. 修正の理由

2026年度は、不確実性が、ますます深まる世界の中で、原材料費、人件費、光熱費、配送費等の高騰に、私どもは、極めて厳しい経営環境に追いやられております。

価格転嫁が一向に進まず且つ、安値受注を受け入れざるを得ず、これらを生産性の合理化を図ることで対応できるのかと言うと、限界を超えてしまっております。

更には、日本経済全体の問題である人手不足、働き方改革による労働時間の制約は、クライアントに新規事業の取り組み、新規案件の受注活動を躊躇させております。

そのことが、体力的に脆弱な業者が多い私どもの業界全体を、死活的な状況に至らしめているというのが、偽らざる現状に対する認識です。

2026年度の建築鉄骨の消費量は、350万トンを割り込む予想です。このレベルは、60年前の高度経済成長期に重なります。

今後もこのような低成長が続くものと推察されます。これらの要因は、私どもの予想をはるかに超えるものでありました。そうしたことから、業績予想を修正せざるを得なくなりましたので、ここにご報告申し上げる次第です。

売上金額の増加は、予定工事の追加や2027年度に予定をしていた工事の検収が早くなったことが主な要因です。一方で、営業利益が大幅に減少する見込みとなった主な要因は、請負受注単価の減少に加え、各コストが想定を上回る水準で増加したことによるものです。経常利益の減少は、そのことに連なります。当期純利益が減少することの要因は、リース資産の入替により固定資産除却損として、6百万円を計上したことによります。

(注) 上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上